

神奈川県/大学合格状況(3/14 速報値)

	2024	2023	2022
国公立大学			
東京農工大学			1
宮城大学		1	
県立保健福祉大学	1		
横浜市立大学	1		
川崎市立保健福祉大学	1		
私立大学			
早稲田大学	4	2	2
慶應義塾大学	5	2	2
上智大学	8	8	4
東京理科大学	6	4	2
国際基督教大学		1	
明治大学	18	6	8
青山学院大学	12	9	14
立教大学	33	16	19
中央大学	9	9	15
法政大学	24	25	18
学習院大学	10	7	15
北里大学	6	5	8
星薬科大学	2	1	5
東京薬科大学	5	4	2
昭和薬科大学	3	2	7
明治薬科大学	3		1
昭和大学	5	3	4

GMARCH 以上前年比+42名

2024年3月14日、本校は高校卒業式を迎えました。3月14日段階の23年度卒業生の大学合格状況をお知らせします。なお、以下はすべて速報値のため、今後若干修正の可能性あることをご承知おきください。

現時点での大学合格状況（一部抜粋）は左表のようになっています。国公立大学、早慶上理、GMARCHの合格者総数は132名となっており、前年比+42名（1.47倍）となりました。とりわけGMARCHクラスの伸びが大きく、立教大学（16名⇒33名）、明治大学（6名⇒18名）、青山学院大学（9名⇒12名）等となっています。

国公立・早慶上理ICUの合格者合計も、直近3年間で11名⇒18名⇒26名と伸びています。

理系進学者 37%

文理別の進学状況は、文系63.0%、理系37.0%で、過去2年に比べるとやや文系が増え、理系が減りました。しかし、過去2年と同様、35%を超える理系進学水準を維持しています。理系では左表にもあるように医療関係への合格が多数出ている（薬学29校、看護22校、保健医療9校等）のが近年の傾向です。このほか、獣医学部（8校）や、既卒生では医学部への合格も出ています。

なお、理系学部への合格は医療系だけでなく、理学系、工学系、農学系、情報系等、非常に多岐にわたっています。

一般選抜型受験 61%

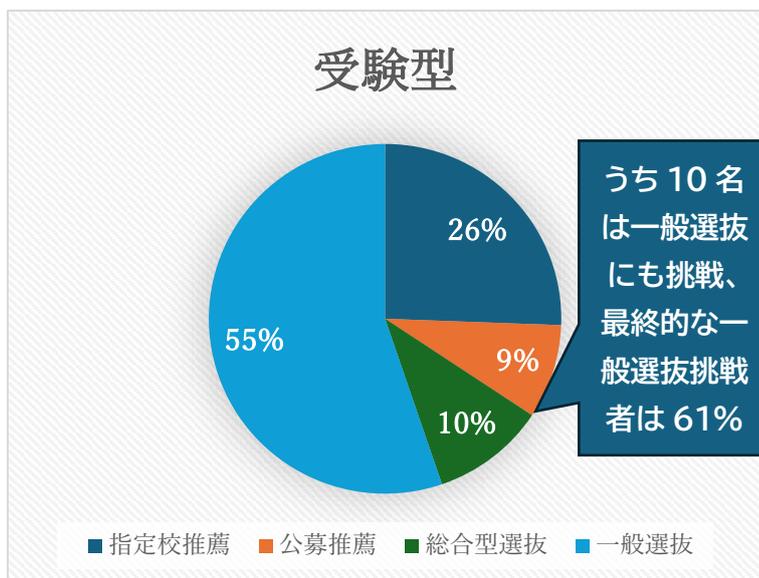
受験型別の内訳は裏面グラフのようになっています。指定校推薦を利用した生徒は26%でした。公募推薦合格者は9%、総合型選抜合格者は10%を

理系進学者の割合



占めています。したがって、「指定校」「公募型」「総合型」各入試を通して、秋の段階で45%の生徒は合格を手にしていたということになります。

なお「公募型」「総合型」のうち「併願可能」な大学に合格した生徒の中には、引き続き一般選抜に挑戦した生徒も混じっています。実際、公募型推薦合格者15名中5名が、総合型選抜合格者18名中5名が一般受験にも挑戦しました。したがって、卒業生総数から「指定校推薦」「公募型推薦」「総合型選抜」の合格者を除いた一般選抜挑戦の生徒の割合は55%でしたが、「公募型」「総合型」で合格後、さらに一般選抜に挑んだ生徒も含めると一般選抜挑戦の生徒は61%に上ります。



本校では、一人ひとりの進路を「かけがえのないもの」として大切にしながら、個に即しつつ全力でのバックアップをしています。最終的な合格状況は改めてHP等でお知らせいたします。